

## 資料5

## 放鳥トキの様子

## 1. 第5回放鳥の結果

トキの第5回放鳥については、9月27日、28日の2日間で18羽（♂11羽、♀7羽）のトキが順化ケージから飛翔し、放鳥から50日以上経過した現在、18羽中17羽が島内で確認されています。単独行動をしているNo.81,82,99を除く14羽について、既存の群れへの合流、第5回放鳥個体同士による群れの形成が確認されています。

表1 第5回放鳥個体の状況

番号	生まれ年	性別	系統	GPS	最近の行動
81	2007	♂	K		単独行動(佐和田地区)
82	2008	♂	L	○	単独行動(両津地区山中)
83	2008	♀	M		第5回放鳥個体同士による群れで行動(新穂地区)
84	2009	♂	P		既存の群れと共に行動(羽茂地区)
85	2009	♂	N		群れで行動(両津・金井周辺)
86	2009	♂	K	○	群れで行動(両津・金井周辺)
87	2009	♂	O		群れで行動(両津・金井周辺)
88	2009	♂	K	○	第5回放鳥個体同士による群れで行動(新穂地区)
89	2009	♀	E		放鳥翌日に、新穂地区で確認された後確認情報なし
90	2009	♂	S	○	既存の群れと共に行動(羽茂地区)
91	2009	♂	K		第5回放鳥個体同士による群れで行動(新穂地区)
92	2009	♂	O		群れで行動(両津・金井周辺)
93	2009	♀	M		群れで行動(両津・金井周辺)
95	2010	♀	M		群れで行動(両津・金井周辺)
96	2010	♀	E		第5回放鳥個体同士による群れで行動(新穂地区)
97	2010	♀	G		第5回放鳥個体同士による群れで行動(新穂地区)
98	2010	♂	T		第5回放鳥個体同士による群れで行動(新穂地区)
99	2010	♀	E		単独行動(畑野・金井地区)

(網掛けは未確認の個体)

(順化ケージ前の池への初飛来について)

No. 83については、9月27日6:24に野生復帰ステーション順化ケージ放鳥口から飛翔したが、9月28日16:00すぎに放鳥口の扉を閉めた後、17:09順化ケージ前の池に飛来し、ドジョウを採餌する様子が確認された。10月18日まで毎日、順化ケージ前の調整池で単独で確認されていたが、その後飛来は確認されず、10月20日以降、新穂地区でNo. 88と2羽で行動する様子が確認された。

## 2. 佐渡島内の放鳥トキの状況

2011年11月現在、佐渡島内で確認されている個体の数は46羽。主に新穂・両津・金井地区、畑野・真野地区、羽茂地区の3カ所で行動していることが確認されている。

## 【新穂・両津・金井地区】

繁殖期後、群れで行動していた15羽のうち、No.01♂(2005年生まれ)は9月24日に確認されたのを最後に確認されていない。

11月上旬以降、新穂・両津地区で単独行動していたNo.87と、両津(前浜)地区で群れとして行動していたNo.85,86,92,93,98、6月以来両津(北部)地区で単独行動していたNo.80♀(2010年生まれ)が、既存の14羽の群れの比較的近くに移動し、これまでに既存の群れに合流する個体も確認されている。

また、11月中旬には2羽で行動していたNo.83,88と、4羽で行動していたNo.91,95,96,97が、新穂地区で合流した。No.95が両津・金井方面に移動し、No.98が両津・金井方面から移動するなどしたのち、現在では第5回放鳥個体6羽が同じねぐらやえさ場を利用するなど、同一の行動範囲を共有している。

## 【畑野・真野地区】

既存の5羽の群れのまま。11月14日に両津(北部)地区で単独で行動していたNo.99が群れに極めて近い場所で行動していたのが確認されたが、既存の群れへの合流にはいたっていない。

## 【羽茂地区】

既存の10羽の群れから、No.31♀(2008年生まれ)が9月13日に新穂・金井・両津地区へ移動して9羽になった。10月17日にはNo.90が羽茂地区に移動してきたが既存の群れには合流せず、遅れて羽茂地区に移動してきたNo.84が10月22日に第5回放鳥個体の中では初めて既存の群れに合流したことが確認された。No.84とNo.90の2羽については、既存の群れと同じねぐらを利用してはいないものの、同一の行動範囲を共有している。

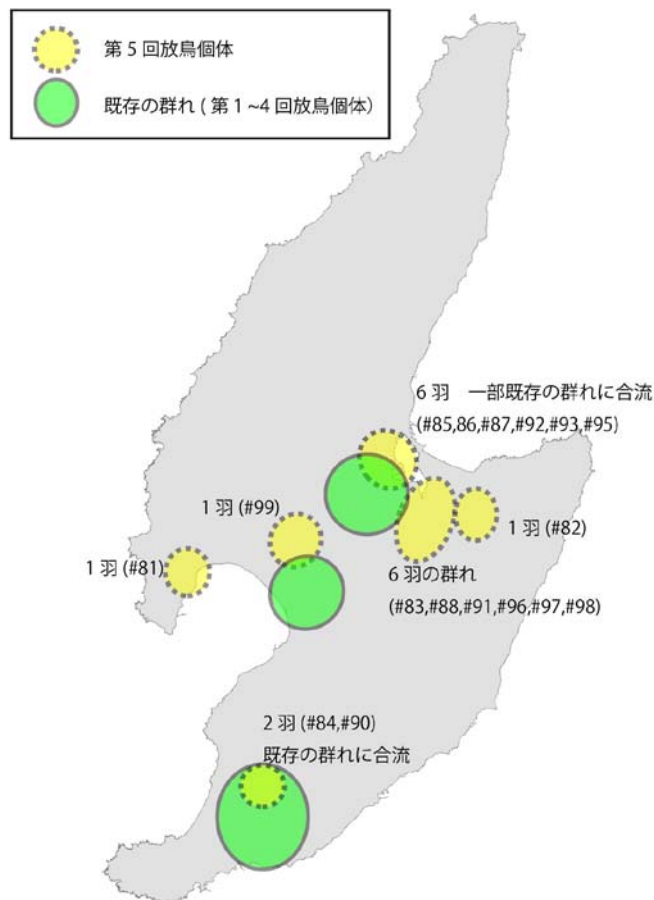


図1 佐渡島内における第5回放鳥トキの確認位置図  
(2011年11月17日現在)

表2 各生息範囲内における個体構成

	オス					メス					個体数			
新穂・両津・金井地区	08	23	50	67	76	18	21	25	26	27	31	32	14羽	
						66	78							
(両津・金井地区)	(85	86	87	92	95)	(80	93)						7羽	
(新穂地区)	(88	91)				(83	96	97	98)					6羽
畑野・真野地区	33	68	72	74	38								5羽	
羽茂地区	06	11	48	71	73	84	90	03	53	69	79		11羽	
その他(単独行動)	81	82				99							3羽	
本州						04							1羽	
合計	25羽					22羽					47羽			

(赤=第1回放鳥個体、青=第2回放鳥個体、黄=第3回放鳥個体、緑=第4回放鳥個体、紫=第5回放鳥個体)  
(下線はGPS送信器装着個体を、網掛けは今年ペアを形成した個体を示す)

(ペア形成個体の現在の確認状況)

昨年は繁殖期以降にペアを形成した個体の片方または双方が行方不明となるペアが6ペア中4ペア存在したが、2011年11月現在、今年ペアを形成した個体(7ペア)についてはいずれも生存が確認されている。

(来期繁殖期について)

第4回放鳥(3月)と第5回放鳥(9月)で1~2歳個体が多く放鳥され、表3のとおり、島内個体群において、来年2~3歳の繁殖年齢を迎える個体が大幅に増加している。今年ペアを形成した全個体の生存に加え、繁殖期を迎える個体数に大幅な増加が見込める(表4)ことから、来年の繁殖期においてはペア数も増加する可能性が高い。

表3 現在確認できている放鳥個体の年齢構成

生まれ年	羽数	オス					メス					(本州)	
2005年(6歳)	2羽						03	18					
2006年(5歳)	5羽	06	08	11			21					04(♀)	
2007年(4歳)	4羽	48	50	81			38						
2008年(3歳)	9羽	23	33	82			25	26	27	31	32	83	
2009年(2歳)	18羽	67	68	71	72	73	74	53	66	69	93		
		84	85	86	87	88	90						
		91	92										
2010年(1歳)	9羽	76	98				78	79	80	95	96	97	
							99						
合計	47羽	25羽					21羽					1羽	

(赤=第1回放鳥個体、青=第2回放鳥個体、黄=第3回放鳥個体、緑=第4回放鳥個体、紫=第5回放鳥個体)  
(下線はGPS送信器装着個体を、網掛けは今年ペアを形成した個体を示す)

表4 繁殖期における島内個体数とペア形成数

	2009	2010	2011	2012
繁殖期(3/1時点)における島内個体数	5	17	19	(※46)
ペア形成数	0	6	7	-

※2012年の島内個体数は2011年11月現在の数